

まなび通信

- ◆ 最上教育事務所研修通信
第 4 号
- ◆ 令和5年10月26日
- ◆ 最上教育事務所指導課

教科担任マイスター研修会（戸沢学園）

教科担任マイスター研修会を10月18日（水）に戸沢学園を会場に行いました。

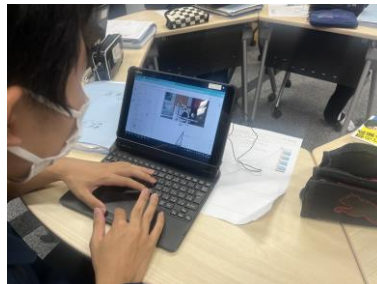
授業者は、鈴木 雄大 教諭、教科は数学、学年は9年生です。

本単元は、「相似な図形」です。単元計画が詳細に記載されており、どの時間にどのような力をつけたいかも意識されていました。先日の学習指導力向上研修会で示した「習得・活用・探究のバランスの取れた単元づくり」につながる素晴らしい単元計画です。

本時の授業は、「直接には測定できない距離や高さを相似（縮図）を利用して求める方法を考える」内容です。

授業後に事後研究会を小学校マイスター3名で行いました。授業の良さやその手立てについて協議しました。以下は授業に係り、話し合われた内容の一部です。

- ・ 初めに、先生から「6年生が校舎の床の面積を実際に測定している授業をした際に、『面積が分かったら体積も調べたいね』とつぶやいていた。体積を調べるにはどうしたらよいのでしょうか？」と問いかけがあり、「高さが分かるといいよね」「今日は高さを求める方法を考えて、実際に求めてみよう」と、子どものつぶやきから課題設定がされていた。
- ・ 測定前に、相似条件をしっかりと確認したうえで、どの相似条件を活用することで、高さを求めることにつながるのか、どの長さや角を測定するとよいのかを生徒が理解をしたうえで、実際に測定していた。
- ・ 実際に測定する場所を5箇所設定して、生徒が選べるのがよい。また、測定している様子をタブレットで撮影して、画像を活用するのはICTの効果的な活用につながっている。
- ・ 寝ながら撮影している生徒は、相似をしっかりと理解している。
- ・ 撮影した画像を「GeoGebra」というソフトを使うことで、すぐに角度を求めることができ、高さを視覚的に求めることにつながっていた。先生のICTに対する意識の高さが、そういったソフトを見つけたり、活用したりすることにつながっている。
- ・ 振り返りも「Jamboard」を活用していて、内容について色分けされた付箋を、自分たちで選んで振り返っていた。活用してみたい。



ICTの活用も含めて、学び多い研修になりました。授業を公開いただきました鈴木先生、本当にありがとうございました。